



平成 22 年 3 月 19 日

各 位

東京都中央区日本橋小網町 6 番 7 号
ジェコス株式会社
取締役社長 岩本 宣彦
(コード番号 9991)
(東京証券取引所市場第一部)
(問い合わせ先)
総務担当取締役 横瀬 力
TEL: 03 - 3660 - 0776

建設機械レンタル子会社の事業再編に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 19 日開催の取締役会において、下記のとおり連結子会社の事業再編について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 目 的

経済環境の悪化に伴い、連結子会社が営む建設機械レンタル事業は、市場の縮小と単価の下落により、2 期連続で経常赤字が発生すると見込まれるため、下記諸施策を実施し、来期以降、確実な黒字化へ向けて、経営再建を図ることを目的といたします。

2. 建設機械レンタル連結子会社に対する諸施策について

- (1) 収益が見込まれない株式会社レクノス西日本については、会社清算いたします。
なお、JFE スチール株式会社 西日本製鉄所に立地する福山営業所については、事業分割し、体制強化のうえ、収益の確保を図ってまいります。
- (2) 国内最大のマーケットである首都圏については、神奈川県を営業基盤とする株式会社レンタルシステム芙蓉の代表者を、東京都、埼玉県、千葉県を中心とする株式会社レクノスの代表者（兼務）とし、一都三県における営業活動面でのシナジー効果および資産の有効活用ならびに経営陣の強化を図ってまいります。
- (3) 株式会社レンタルシステム九州については平成 22 年 2 月 1 日付で、代表者を含め経営陣の刷新を行い、営業体制の強化を図ってまいります。
- (4) 株式会社レンタルシステム新潟については、近隣の関係会社との連携を図り、収益の確保を図ってまいります。
- (5) 収益性が見込まれない賃貸用建設機械の資産処分を行なってまいります。

3. 連結子会社に関する特別損失の計上について

上記の経営改善諸施策の実施などにより、当連結会計年度において、下記の特別損失を計上する見込みであります。

	清算・資産処分	減損損失	合計
株式会社テクノス	約2億円	約8億円	約10億円
株式会社テクノス西日本	約9億円		約9億円
株式会社レンタルシステム東海		約7億円	約7億円
株式会社レンタルシステム九州	約3億円	約5億円	約8億円
株式会社レンタルシステム新潟		約1億円	約1億円
合 計	約14億円	約21億円	約35億円

4. 業績への影響について

当社の業績（連結・個別）への影響につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正および特別損失の計上ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

(付 表)

1.連結子会社の清算

公共事業の見直し、景気低迷による民間投資の縮小、建設機械の賃貸単価の大幅な下落等により西日本地区における今後の収益の確保が困難であると判断し、株式会社レクノス西日本について清算を前提として事業整理等に係る手続きを開始することといたしました。

2.清算の対象となる連結子会社の概要

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 名 称 | 株式会社レクノス西日本 |
| (2) 所 在 地 | 大阪府大阪市中央区南本町四丁目5番20号
住宅金融支援機構・住友生命ビル13F |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 取締役社長 小松 正人 |
| (4) 事業内容 | 建設機械等のレンタル業 |
| (5) 資本金 | 20百万円 |
| (6) 設立年月日 | 平成20年4月1日 |
| (7) 株主構成 | ジェコス株式会社 100% |
| (8) 上場企業と当該会社の関係等 | |
| ①資本関係 | 当社100%子会社 |
| ②人的関係 | 当社従業員出向1名 当社従業員兼任2名 |
| ③取引関係 | 賃貸用建設機械の賃貸借、資金貸付 |
| ④関連当事者の該当状況 | 連結子会社であり、関連当事者に該当いたします。 |

(9) 当該会社の最近3カ年の経営成績および財政状況

決算期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
純 資 産	—	—	△ 30百万円
総 資 産	—	—	558百万円
1株当たり純資産	—	—	△ 75,353円
売 上 高	—	—	1,521百万円
営 業 利 益	—	—	223百万円
経 常 利 益	—	—	△ 35百万円
当 期 純 利 益	—	—	△ 50百万円
1株当たり当期純利益	—	—	△ 125,353円
1株当たり配当金	—	—	—

3.清算の日程

現時点では日程は未定であります。来年度中の清算を予定しております。

以 上